

登録No. S-045  
 登録名 EC療法  
 催吐性リスク 高度  
 適応疾患 乳癌  
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	パロノセトロンバッグ デキサメタゾン	50mL/body 9.9mg/body		d1	d.i.v.	30min	アプレピタント併用
Rp.2	エピルビシン 注射用蒸留水 生食	100mg/m <sup>2</sup> 20mL/body 30mL/body		d1	d.i.v.	全開	蒸留水20mLで溶解
Rp.3	シクロフォスファミド 生食	600mg/m <sup>2</sup> 250mL/body		d1	d.i.v.	60min	

1クルルの期間 3週間  
 その他（副作用・PS規定等）

副作用：骨髄抑制、嘔気、脱毛

- 心毒性あり。エピルビシンの総投与量は900mg/m<sup>2</sup>まで。  
 他のアントラサイクリン投薬歴のある場合はエピルビシンの総投与量650mg/m<sup>2</sup>までOKだが、限界投与されている場合は禁忌。